

# CASBEE® 新築 [簡易版]

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築 (簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.4)

<b>1-1 建物概要</b>		<b>1-2 外観</b>	
建物名称	イオン久御山店	階数	地上4F
建設地	京都府久世郡	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	XX 人
気候区分		年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	物販店、集会所、工場、等	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2012年3月 0.0	評価の実施日	2012年3月12日
敷地面積	69,357 m <sup>2</sup>	作成者	巽 亮子
建築面積	35,868 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	86,124 m <sup>2</sup>	確認者	



**2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)**

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 63%  
③上記+②以外の 63%  
④上記+ 63%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物 (参照値) と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub> 排出量の目安で示したものです (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

**2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)**

**2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)**

**2-4 中項目の評価 (バーチャート)**

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.1

**Q1 室内環境** Q1のスコア = 3.3

**Q2 サービス性能** Q2のスコア = 3.1

**Q3 室外環境 (敷地内)** Q3のスコア = 2.9

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.6

**LR1 エネルギー** LR1のスコア = 3.7

**LR2 資源・マテリアル** LR2のスコア = 3.7

**LR3 敷地外環境** LR3のスコア = 3.3

<b>3 設計上の配慮事項</b>	
<b>総合</b>	<b>その他</b>
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。	注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
<b>Q1 室内環境</b>	<b>Q2 サービス性能</b>
外壁にALCを採用し、断熱性能を高めた。また、トップライトを設けて、自然光を利用した。給気口と排気口の離隔を6m以上確保し、室内空気環境に配慮した。喫煙スペースを確保し、非喫煙者が煙に晒されないよう配慮した。	売場の天井高さを3.5m確保し、開放的な環境に配慮した。各階の便所にSKを設置し、清掃性に配慮した。ゴミ庫を十分な大きさ確保した。高所に設置する照明にはオートリフターを設置し、メンテナンスに配慮した。
<b>LR1 エネルギー</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>
注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b>	<b>LR3 敷地外環境</b>
	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される